

# 丸子町誌「歴史編」上 目次

口 絵

発刊のことば

監修のことば

例 言

丸子町長 滝沢 康  
監修者 黒坂 周平

## 第一編 原 始

あらまし

第一章 旧石器・縄文時代

3

第一節 黒曜石の道

6

丸子町に旧石器時代は存在したか／和田峠付近の黒曜石遺跡／旧石器の変遷

第二節 縄文時代の移りかわり

8

第三節 縄文人のくらしと社会

14

堅穴住居／鳥羽山洞窟の特徴／食糧確保／衣類と装身具／縄文人の奇習・抜歯／墓と埋葬方法／縄文人の精霊・土偶

## 第二章 弥生時代

23

第一節 少ない弥生遺跡

23

丸子町にも人間の足跡／前期遺跡と黒曜石／縄文人の繁栄／気候の変動とともに衰退

稻作のはじまりと新しい文化／特色ある容器形土

偶／なぜ集落が発見されないのか

## 第二節 依田窪地方の弥生遺跡

27

武石村の凹形銅器／長門町の弥生遺跡

# 第二編 古代

## あらまし

### 第一章 古墳時代

31

#### 第一節 玉つくりのむら

33

むらの出現／玉つくりの家／玉類と石製品／玉つく  
り工人の遺跡／大和政権との係わりも

#### 第二節 むらの発達とくらし

42

人口の増加／住居跡と出土品／新しい焼き物・須恵  
器／カマドの出現と食器の変化

### 第三節 鳥羽山洞窟の曝葬

48

秘められた勝手岩／姿を現わした葬所跡／曝葬とい  
う葬法／曝葬儀礼の品々／曝葬儀礼集団の謎

### 第四節 岩谷堂洞窟の崖葬

56

## 第五節 古墳築造と副葬品

59

古墳の出現／低地にある藤森塚古墳／穴倉古墳と練  
合日向山古墳／依田の日向山古墳／古墳の多い丸子  
地区／内村の二つの古墳

### 第六節 丸子の地名の由来

67

古代の豪族／丸子氏をめぐる二つの説／古代丸子氏  
の居館跡は

## 第二章 奈良・平安時代

71

### 第一節 むらのひろがりとくらし

71

遺跡のひろがり／堅穴住居のくらし／用具にみる生  
活の変化／器の多様化と食生活／鍛冶の家／土壌墓

第二節 庶民と有力者	86	第三節 平将門の乱と尾野山	102
溝をめぐらした建物／特殊な出土品		朝鮮から渡来した人びと／渡来人は丸子にも／海部 郷は丸子地方か	
窯の築かれたわけ／広い範囲に分布／構造と立地／ 高度な製作技術／窯を築いた人々／在地須恵器の役割	89	第五節 渡来人と海部郷	97
第三編 中世		乱のはじまり／信濃国分寺の戦い	
第一章 中世の初頭	107	第三節 木曾義仲の挙兵と丸子地方	128
第一節 依田庄と依田氏	113	義仲の挙平と合戦／義仲軍の地盤／京への進撃／義 仲の不評と衰運／木曾義仲と依田城／依田城はどこ か／義仲と丸子地方の武士／武士団のその後の動き	
依田庄の登場／前斎院とは／依田庄の成立はいつか ／依田庄の開発と領主／依田庄と依田氏の開発	120	第二章 鎌倉時代	
第二節 丸子氏・長瀬氏・塩河(川)氏	137	第一節 茂木氏の地頭入部と依田氏	137
依田川東岸地域の史料／丸子氏の館はどこか／長瀬 氏の居館／塩河(川)氏と芝宮居館		茂木知基譲状／茂木氏の系譜／残る茂木氏支配の影 ／有名無実の地頭職	

## 第二節 鎌倉期の丸子地方

承久の変と丸子地方の武士／依田氏系図の語るもの

／依田氏の得宗被官化／塩川中務丞／塩河牧と塩川  
郷／長瀬判官代

## 第三節 灵泉寺の開創と平氏

小県地方屈指の古寺／胎内に納めた宝物／平繁長と  
はだれか／高梨氏と内村の関連

145

## 第四章 室町時代

### 第一節 大塔合戦と丸子地方

守護を追い出した大塔合戦／大井氏の丸子滞陣

### 第二節 善光寺信仰と善光寺道

盛んだった善光寺信仰／深山を通る善光寺道／有坂  
よりの道

153

### 第三節 依田氏・芦田氏と佐久大井氏の争い

芦田へ進出した依田氏／芦田氏と佐久大井氏の争い  
／常憲屋敷の伝承と遺構／芦田氏のその後／結城陣  
番帳と丸子地方の武士

160

184

### 第三章 南北朝時代

#### 第一節 依田氏の勢力拡大と所領の拡張

鎌倉幕府の滅亡／室町幕府と依田氏の活躍／系図と

の対比／所領の拡張

#### 第四節 諏訪社と丸子地方

頭役と造宮役／丸子町の諏訪社／諏訪信仰の普及

#### 第五節 遺構・遺物の語るもの

中世の遺構と遺物／食生活に関する遺物が多い

#### 第六節 郷村の人々の暮らし

依田庄にあつた談所／各地の談所／談所は尾野山に  
あつたか

170

201

#### 第二節 尾野山中尾の戦い

観応の擾乱／信濃の戦いと諸将の動向／「夜山・中  
尾」の戦い／観応の擾乱の結果／不思議な依田氏

166

190

#### 第三節 依田庄福是山の談所

160

195

## 第七節 用水路と水田開発

### る計画開発

#### 三、内村川谷底平野

はじめに………

一、腰越・丸子・長瀬

腰越の開発……深山沢による開発／宮原堰による開

発／向井の開発

上丸子・中丸子の開発……上丸子の原始開発と三反

田・八日町／大堰による上丸子の開発

車屋堰と沢田の地名……内川による上丸子の開発

下丸子の東川・西川

丸子条里的遺構

長瀬の開発……山根堰による原始開発／表川・裏川

による開発／練合の開発／上平の開発／上堰・下

堰と金井の開発

#### 二、塩川

石井の開発……石井清水による原始開発／石井堰が

語る開発の経緯／下川原堰による低地帯の開発／

中島の開発／狐塚の開発／狐塚堰による原始開発／

／遺跡と自然流狐塚堰／狐塚の名が語るもの

南方の開発……南方の原始開発／吉池による開発／

雨池による水量補強

坂井の開発

塩川条里的遺構

丑田原郷土川原の開発

藤原田の開発……大沢による原始開発／大井戸によ  
る原始開発／箱蓋池による計画開発／田楽池によ

208 207 207

220

233

## 第七節 用水路と水田開発

### る計画開発

#### 三、内村川谷底平野

古くに開発された谷／鹿教湯・高梨の開発／町屋敷

の開発／高梨の開発／六沢・中村・茂沢の開発／戸

羽・宮沢の開発／荻窪の開発／和子・新屋の開発／

辰ノ口の開発／腰越・本郷の開発

四、御岳堂・飯沼・尾野山

から沢・中沢による原始開発／原沢・不動沢による

原始開発／堀田沢による原始開発／溜池による開発

／御嶽堂堰による条里開発／飯沼堰による条里開発

／依田条里的遺構／尾野山の開発／茂沢の開発

五、丸子・塩川・依田条里的遺構の対比

立地条件と原始開発／幹線水路による計画開発／連

続灌水型態の対比

#### 第八節 高野山蓮華定院と丸子

高野山蓮華定院／過去帳と丸子の人々／高野山信仰

の普及

#### 第九節 法住寺と虚空藏堂

法住寺と虚空藏堂

261

259

244

## 第五章 戦国時代

### 第一節 海野平の合戦と尾野山城

267

法住寺と虚空藏堂

264

海野平の合戦／尾野山城とは／福沢氏の丸子支配と  
伊勢信仰

## 第二節 武田氏の進攻

上田原の合戦／戸石城の戦い／晴信・塙田城を占  
領／武田軍の行動と依田春賢／川中島の合戦と丸子  
良存／丸子善次と当時の軍備／海野衆と尾野山氏

## 第三節 真田昌幸の丸子攻め

真田氏の系譜／武田氏の滅亡と混乱／小県郡内の抗  
争／依田窪地方の動き／昌幸、丸子を攻める／依田  
窪真田の配下に／昌幸の感状

## 第四節 第一次上田合戦と丸子城の攻防

昌幸上田城を築く／家康に反逆／上田城・神川をめ  
ぐる戦い／丸子城の攻防／徳川軍突然の退却／昌  
幸・秀吉に援助を求める

## 第五節 第二次上田合戦と丸子

関ヶ原合戦の前夜／真田父子東西に別れる／第二次  
上田合戦／関ヶ原の戦いと昌幸の配流／信之上田城  
主となる／真田氏と丸子地方／大阪夏の陣と丸子勢  
の働き／真田高勝と龍顏寺／真田昌親と御屋敷跡

# 第六章 中世の城館跡と文化財

## 第一節 城館跡

丸子町の中世城館跡／中城館跡（飯沼）／古城館跡  
(長瀬)／開戸館跡（中丸子）／御嶽堂館跡（依田城  
跡）／尾野山城跡（依田）／真田氏館跡（飯沼北原）  
／宗龍寺館跡（御嶽堂）／丸子城跡（丸子公園一帯）  
／安良居神社館跡／辰の口館跡／東町館跡（腰越・  
蓮乗寺・全芳院一帯）／鳥屋城跡（腰越・東内・武  
石）／真田屋敷跡（西内）／城山砦跡（靈泉寺）／鳥  
羽城跡（腰越）／箱山城跡（中丸子）／市之町砦跡  
(塩川)／芝宮砦跡（塩川）

## 第二節 文化財

竹の花五輪塔／靈泉寺五輪塔／御嶽堂五輪塔／法住  
寺宝篋印塔基壇／北原の宝篋印塔／長泉寺板碑／荻  
窪の觀音堂厨子／尾野山の木造千手觀音立像／藤原  
田の木造千手觀音坐像／長瀬の木造延命地藏尊立  
像／小玉川神社の神像／靈泉寺の雲版／靈泉寺の經  
筒等

# 第四編 近世

あらまし

目次

第一章 江戸時代の政治	333	あらまし	
第一節 江戸時代初期の丸子	336	第一節 村の構成と村役人	365
真田の治世／給人支配／代官支配と同心／農民対策 ／領主の変遷／細分化された支配／分割統治の実態	336	村に住む職人／各層の農民／五人組／村方三役／村役人への給付／任期と選出方法／世襲から入札へ／任免の手続き	365
第二節 幕府領	336	第二節 村のきまりと自治	376
代官所と代官／慶安の御触書／高札	344	村定（郷法）／過料金の推移／家出人の捜査と帰村 ／不届き者への処置／村の財政	376
第三節 小諸藩	357	第三節 村の戸口	383
藩の成立／歴代の藩主（松平、青山、酒井、西尾、 石川、牧野）／小諸藩の法度	362	元禄十四年の宗門改帳／村別にみた戸口の推移／抱の減少と戸数の増加／下男・下女の減少と人口の減少／子間引き禁止令／年齢別人口構成／男女別人口構成／下丸子の抱・消滅過程／飯沼村の通婚圈	383
第四節 岩村田藩	397	第四節 被差別部落の人々	397
藩の成立と歴代藩主／岩村田藩の法令	397	作られた被差別身分／差別の強化／穢多人別宗門帳	397

／戸口の推移／死後も受けた差別

### 第三章 田畠と農民

第一節 江戸時代初期の土地制度	403	第一節 真田氏の時代	403
貫高制から石高制へ／検地と検地帳		代官による蔵納／上丸子の「御指出」	
第二節 小諸藩の村々の検地	407	第二節 小諸藩の村々の年貢	429
寛文十年の検地と芦田騒動／酒井氏の苛政にかかる落首		松平氏の時代／青山氏の時代／酒井氏の時代／西尾・石川氏の時代／牧野氏の時代／年貢の納入と輸送／小物成	
第三節 幕府領の村々の検地	409	第三節 幕府領の村々の年貢	437
安永六年の新田検地の命令／村役人へ細かい指示／農民の受け入れ体制／秘密の申し合わせと検地の結果	415	貢租のうつりかわり／年貢の納入と輸送／小物成	
第四節 岩村田藩の村々の検地	423	第四節 岩村田藩の村々の年貢	444
安永六年の検地／検地の具体的方法（検地・野帳の振合・新田）／検地の期間／厳しい検地の結果とその影響		貢租のうつりかわり／年貢の割付／年貢の皆済	
第五節 農民の土地所有	415	第五節 各領地の年貢の比較	450
土地所有のうつりかわり／農家の経営		幕府領と小諸領／幕府領と岩村田藩	

### 第四章 年貢と農民

第一節 真田氏の時代	427	第一節 勤めの内容	455
代官による蔵納／上丸子の「御指出」		伝馬と助郷の制度化／和田・長窪宿の助郷村／道普請の負担／橋造りの組合	
第二節 小諸藩の村々の年貢	429	第二節 各領地の年貢の比較	444
松平氏の時代／青山氏の時代／酒井氏の時代／西尾・石川氏の時代／牧野氏の時代／年貢の納入と輸送／小物成		貢租のうつりかわり／年貢の割付／年貢の皆済	
第三節 幕府領の村々の年貢	437	第三節 幕府領の村々の年貢	450
貢租のうつりかわり／年貢の納入と輸送／小物成		第四節 岩村田藩の村々の年貢	444
第四節 岩村田藩の村々の年貢	444	貢租のうつりかわり／年貢の割付／年貢の皆済	
第五節 各領地の年貢の比較	450	第五節 各領地の年貢の比較	455
幕府領と小諸領／幕府領と岩村田藩		第五節 各領地の年貢の比較	455
第五節 各領地の年貢の比較	455	第五節 各領地の年貢の比較	455

## 第二節 勤めの実態

問屋からの触れ出し／年間の出勤数／賃錢／平均勘定／助郷に関する規定／取替議定書／助郷村内規定

## 第三節 助郷負担の軽減運動

助郷免除嘆願の始まり／和田宿付助郷村の嘆願／安永以前の嘆願／上田領七ヶ村の半高休み／小諸領八ヶ村半高休み役に／御嶽堂村の嘆願／十年間、八割休み役に／助郷免除の高梨村／当分助郷と免除への努力／百両上納し、永久免除を運動

## 第六章 治水と用水

### 第一節 依田川・内村川の水害と治水

#### 一、水害と村の移転

上丸子村の移転／戊の満水の大災害／高梨村町屋敷の流失

#### 二、川筋の移動と村境争い

上丸子村と辰ノ口村の紛争／横岩をめぐる地境論／幕府の実地測量と裁定／長瀬村と飯沼村の村境争い／両村の入会地とする裁定

#### 三、依田川・内村川の治水

国役普請／御普請の実際／幕府領の御普請／自普請

## 第二節 村々の用水堰と水論

一、近世丸子の用水堰／発達していた用水堰／古い時代から段階的に開削されたため池

### 二、塩川用水堰運営の実態

堰費用負担の慣行／堰普請の実際／芝割合／諸入用割合／文政の水争い／安政の水番争い

### 三、御嶽堂堰と飯沼堰

明和の出入り／夢の掛け橋／飯沼村と尾野山村の紛争／丁場分割の出入りと幕府の裁定／普請割合の主張と新規の裁定／幻の塙田平への引水計画

## 第七章 村の産業

### 第一節 農業

明細帳にみる農業／多くあつた稻の品種／稻作と曆／畑作物の種類／麦も大事な食料／その他の作物

### 第二節 養蚕

明細帳にみる養蚕／桑園の開発／蚕種商の活動／種場の売買／生糸と紬の生産販売

### 第三節 酒造

村でも酒造り始まる／酒造の制限と勝手造り／酒造の実際

## 仲間と請酒屋

水入山の入会／天保の仮議定／嘉永の出入り／文久の議定

## 第四節 商人と職人

諸商売・諸職人／紙すき

## 第九章 生活と文化

## 第八章 入会と山論

第一節 文芸と娯楽

## 第一節 入会山

印鑑の普及／俳諧の流行／石尊の辻／諏訪神社の回り舞台

丸子の入会山／領主の交代によって複雑／山野の利用型態／細尾山の入会／山守と札下村々／山札／山の口明け／鹿教湯山は炭焼き山／広大な武石山／八重原山の入会

## 第二節 山論

## 第三節 信仰と文化財

一、武石山の山論  
延宝の取扱い／宝永の出入り

## 二、内村の山論

寛文の出入り／貞享の出入り／宝永・正徳の出入り  
／享保の和解／高梨村と四ヶ村との出入り

三、八重原山をめぐる境論  
小県郡八か村と八重原村との出入り／八重原の開発  
と四ヶ村の離脱／寛文のとりきめ／元禄の出入り／  
小県郡八か村と牛鹿村との出入り／小諸の代官の裁定／再度の紛争

## 第四節 交通と旅

街道の整備と往来の活潑化／丸子を通った古い道／  
北国往還と結ばれた道／布引・八重原への道／別所  
みち／尾野山の道／大門への道／峠の道／三才山峠  
越え／三十坂峠／武石への峠／塩田への峠／樽木の道／回国巡礼と道

## 四、水入山をめぐる境論

566

556

549

547

547

538

538

536

天保の大飢饉／藩の救済策／凶作に備えて穀物を貯蔵／貯穀の実際／疱瘡流し――

577

583

570

570

第十章 幕府体制の動搖と崩壊

第一節 くずれゆく封建社会

602

天保の飢饉と大塩平八郎の乱／黒船の来航と丸子の人々

第二節 攘夷から討幕へ

604

尊王攘夷運動と和宮の江戸下向／聞えてくる討幕への足音